

2022年4月14日

各位

会社名 日本国土開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 朝倉 健夫
 (コード番号: 1887 東証プライム)
 問合せ先 管理本部副本部長兼経理部長
 音石 博憲
 (TEL. 03-3403-3311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年7月15日に公表しました2022年5月期の通期業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年5月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年6月1日～2022年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	150,000	10,200	9,900	6,800	77.00
今回修正予想 (B)	126,700	7,300	7,600	6,800	77.81
増減額 (B-A)	△23,300	△2,900	△2,300	—	
増減率	△15.5%	△28.4%	△23.2%	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年5月期)	117,803	10,564	10,585	7,713	88.92

(2) 2022年5月期通期個別業績予想数値の修正 (2021年6月1日～2022年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	127,000	8,300	5,800	66.00
今回修正予想 (B)	112,000	7,600	7,100	81.24
増減額 (B-A)	△15,000	△700	1,300	
増減率	△11.8%	△8.4%	22.4%	
(ご参考) 前期実績 (2021年5月期)	102,246	9,234	6,797	78.36

2. 修正の理由

(1) 個別業績予想

売上高は、前回予想から 150 億円減少となる見込みです。注力している設計施工案件の受注時期のずれ及び一部工事の進捗遅れが主な要因となります。

経常利益は、前回予想から 7 億円減少となる見込みです。売上高の減少に伴い、営業利益が当初見込みより 22 億円の減少、これに対して連結子会社から当期より受けた配当金及び一部金融商品の解約に伴う返戻金により 15 億円増加したことが主な要因となります。

純利益は、前回予想から 13 億円上回る見込みです。上記に加え、連結子会社からの配当を特別利益に計上する予定としていることが主な要因となります。

(2) 連結業績予想

連結売上高は、前回予想から 233 億円減少となる見込みです。個別業績の要因に加え、連結子会社においても同様に一部工事の進捗遅れ等による売上高 52 億円減少及び、グループ内取引増加による連結決算上の消去が 31 億円増加することが主な要因です。

連結営業利益及び連結経常利益は、前回予想からそれぞれ 29 億円、23 億円減少となる見込みです。個別業績の要因に加え、連結子会社の売上高減少に伴う営業利益 6 億円減少及び、連結子会社からの配当 9 億円を連結決算上消去することが主な要因です。

親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社で一部資産譲渡を予定していることから、当初の計画通りとなる見込みです。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益に変更がないことから、配当予想につきましてはこれまでの予想に変更ありません。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上